

農001	項目名	農産物加工センター管理運営費		
予算書項目	農産物加工センター管理運営費	ページ	31	所属名
年度	R3	農林水産部 農政企画課		
会計名	一般会計			
款	農林水産業費			
項	農業費			
目	農業総務費			
(単位：千円)				
補正前額	25,179			
要求額	408			
総務部長段階査定額	408			
市長段階査定額	408			
区分	補正額	その他財源の内訳		
財源内訳	国・県支出金	分担金	0	
	地方債	負担金	0	
	その他	使用料	0	
	一般財源	手数料	0	
	計	財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
行財政改革課処理欄				
<b>事業の概要</b> 【問合せ先】農政係 0857-30-8302 【11次総の施策体系】2104 【事業の経過及び背景】 農産物の加工技術の習得・向上により地域農業の振興を図ることを目的に、市内各地に農産物加工等施設を整備している。現在は、施設の効率的な運営管理と併せ、「鳥取市公共施設再配置基本計画」に基づき、施設の地元移管等も進めている。 【事業の目的及び効果】 劣化等による農産物加工等施設の修繕を行い、各施設の機能保全を図る。 【事業の内容】 鳥取市農産物加工センター(香取、平成3年開設)の建屋屋根の塗装修繕：408千円 令和3年3月点検時、トタン葺屋根全体の劣化(錆び)の進行が顕著であった。雨漏りにつながる恐れがあり、食品加工施設としての衛生面を確保するため修繕が必要。 修繕内容 塗装修繕(錆止め処理含)：面積190㎡				

農002	項目名	共同利用施設整備等事業費		
予算書項目	共同利用施設整備等事業費	ページ	31	所属名
年度	R3	農林水産部 農政企画課		
会計名	一般会計			
款	農林水産業費			
項	農業費			
目	農業総務費			
(単位：千円)				
補正前額	10,237			
要求額	528			
総務部長段階査定額	528			
市長段階査定額	528			
区分	補正額	その他財源の内訳		
財源内訳	国・県支出金	分担金	0	
	地方債	負担金	0	
	その他	使用料	0	
	一般財源	手数料	0	
	計	財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
行財政改革課処理欄				
<b>事業の概要</b> 【問合せ先】農政係 0857-30-8302 【11次総の施策体系】2104 【事業の経過及び背景】 地域農業の振興により雇用創出や所得向上を図ることを目的に、市内各地に農作業場や農機具保管庫等の共同利用施設を整備している。現在は、施設の効率的な運営管理と併せ、「鳥取市公共施設再配置基本計画」に基づき、これらの施設の地元移管等を進めている。 【事業の目的及び効果】 経年劣化等による共同利用施設の修繕を行い、施設の機能保全を図るとともに、将来的に地元等への移管の円滑化につなげる。 【事業の内容】 鳥取市青谷町桑原生活改善センターの照明に使用されていたPCB使用安定器の処分にかかる費用一式(運搬費及び処分費)：528千円				

農003	項目名	事務費
予算書項目	事務費	ページ 31
年度	R3	所 属 名 農林水産部 農政企画課
会計名	一般会計	
款	農林水産業費	
項	農業費	
目	農業総務費	
(単位：千円)		
補正前額	2,308	
要求額	4,932	
総務部長段階査定額	4,932	その他財源の内訳
市長段階査定額	4,932	分担金 0
		負担金 0
		使用料 0
		手数料 0
		財産収入 0
		寄付金 0
		繰入金 0
		贈収入 0
		その他 0
区分	補正額	
財源内訳	国・県支出金	0
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	4,932
	計	4,932
行財政改革課処理欄		
<b>事業の概要</b> 【問合せ先】農政係 0857-30-8302 【11次総の施策体系】2104 【事業の経過及び背景】 鳥取クレー射撃場（覚寺）に近接するため池に、散弾銃の鉛弾を含む汚泥が堆積しているため、その除去及び処理を行う切立池浚渫工事の入札を令和2年7月28日に行った。同入札に対し、積算誤りに関する損害賠償訴訟が令和2年10月8日に提起された。裁判は継続中。 【事業の目的及び効果】 今回提起された損害賠償請求事件について、鳥取市が被告としてする一切の行為を代理する権限を弁護士に委任するもの。 【事業の内容】 損害賠償請求事件弁護士報酬等：4,932千円		

農004	項目名	スマート農業実装加速化促進事業費
予算書項目	次世代農業推進事業費	ページ 31
年度	R3	所 属 名 農林水産部 農政企画課
会計名	一般会計	
款	農林水産業費	
項	農業費	
目	農業振興費	
(単位：千円)		
補正前額	0	
要求額	9,790	
総務部長段階査定額	5,485	その他財源の内訳
市長段階査定額	5,485	分担金 0
		負担金 0
		使用料 0
		手数料 0
		財産収入 0
		寄付金 0
		繰入金 0
		贈収入 0
		その他 0
区分	補正額	
財源内訳	国・県支出金	3,656
	地方債	0
	その他	0
	一般財源	1,829
	計	5,485
行財政改革課処理欄		
<b>事業の概要</b> 【問合せ先】担い手支援係 0857-30-8305 【11次総の施策体系】2104 【事業の経過及び背景】 農家の高齢化等による担い手の減少や耕作放棄地の増加が進んでおり、持続可能な農業を実現するための方策として、省力化技術の開発・導入が課題となっている。 【事業の目的及び効果】 農作業の負担軽減や技術伝承のためAIやICTを利用する農業機械・設備や、パソコン・タブレット等を利用した生産管理システム等、先進的なスマート農業機器を導入する農業者を支援することにより、次世代型農業を普及拡大させ本市の持続的な農業振興を目指す。 【事業の内容】 スマート農業機械及び設備の導入経費等に対する補助金：5,485千円 補助事業対象者：1件（GPS付トラクター等導入） 補助事業概要 補助率：1/2（県：1/3、市：1/6） 補助上限額 ※共同利用で上限額の嵩上げあり ・個人：4,500千円（共同利用：9,000千円） ・法人等：10,500千円（共同利用：21,000千円）		

農005	項目名	射撃場管理運営費	
予算書項目	射撃場管理運営費	ページ	31
年度	R3	所 属 名	
		農林水産部 農政企画課	
会計名	一般会計		
款	農林水産業費		
項	林産業費		
目	林業総務費		
(単位：千円)			
補正前額	169,121		
要求額	21,503		
総務部長段階査定額	21,503	その他財源の内訳	
市長段階査定額	21,503	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区 分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	21,503	
	計	21,503	
行財政改革課処理欄			
<b>事業の概要</b> 【問合せ先】鳥獣対策係 0857-30-8303 【11次総の施策体系】2104 【事業の経過及び背景】 野生鳥獣による農作物への被害が増加する中、銃猟者の減少も顕著となっている。狩猟者養成のために必要な射撃場は、平成20年4月から休場していたが、平成28年9月から再開している。 【事業の目的及び効果】 野生鳥獣の捕獲には散弾銃等を使用できる銃猟者の協力が不可欠である。射撃場の整備が完了し再開したため、適正な射撃場の運営を実施し、銃猟者の育成・確保による捕獲を強化することにより、農作物被害の軽減を図る。また、鉛弾処理を行い、周辺住民の生活の安全を確保する。 【事業の内容】 切立池浚渫工事(鳥取クレー射撃場近接ため池鉛弾除去)の増工による : 21,503千円 工事請負費の当初契約額231,990千円(令和2年度～令和3年度)に40,000千円(増工分)を加えた額から、92,796千円(令和2年度執行額)と157,691千円(令和3年度当初予算額)を差し引いた額。 増工理由 浚渫土量(汚泥)の増加及び大雪による設備凍結防止等 ※主な内容 ・濁水処理設備規格の変更 ・浚渫土量の増加(当初設計1,636㎡に対して500㎡の増加) ・濁水処理設備の凍結防止対策 ほか			

農006	項目名	林道維持管理事業費	
予算書項目	林道維持管理事業費	ページ	31
年度	R3	所 属 名	
		農林水産部 林務水産課	
会計名	一般会計		
款	農林水産業費		
項	林産業費		
目	林業振興費		
(単位：千円)			
補正前額	13,204		
要求額	5,170		
総務部長段階査定額	5,170	その他財源の内訳	
市長段階査定額	5,170	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区 分	補正額		
財源内訳	国・県支出金	2,585	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	2,585	
	計	5,170	
行財政改革課処理欄			
<b>事業の概要</b> 【問合せ先】林務係 0857-30-8311 【11次総の施策体系】2104 【事業の経過及び背景】 林道を安全に通行し、維持管理を容易にできるようにするため、点検、除草、修繕、改良、舗装などの維持管理及び改良を行うもの。 【事業の目的及び効果】 既設林道の適正な維持管理を行う。 【事業の内容】 林道若桜江府線の法面復旧：5,170千円 令和3年3月の林道点検の際に、法面一部が崩落している箇所を発見。通行の安全性が確保できない状況となっている。 (冬期積雪の融雪水と道路横断溝の閉塞が影響) 復旧内容 ・復旧延長：L=12m ・復旧工法：ブロック積工			

農007	項目名	漁港施設維持管理事業費	
予算書項目	漁港施設維持管理事業費	ページ	31
年度	R3	所 属 名 農林水産部 林務水産課	
会計名	一般会計		
款	農林水産業費		
項	水産業費		
目	水産業振興費		
(単位：千円)			
補正前額	49,523		
要求額	9,233		
総務部長段階査定額	9,233		
市長段階査定額	9,233		
区分	補正額	その他財源の内訳	
財源内訳	国・県支出金	1,419	分担金
	地方債	0	負担金
	その他	0	使用料
	一般財源	7,814	手数料
	計	9,233	財産収入
			寄付金
			繰入金
			贈収入
			その他
行財政改革課処理欄			
<b>事業の概要</b> 【問合せ先】水産漁港係 0857-30-8312 【11次総の施策体系】2104 【事業の経過及び背景】 平成12年度、鳥取県から第1種漁港である岩戸漁港（福部町）、酒津漁港・船磯漁港（気高町）、夏泊漁港・長瀬漁港（青谷町）の5漁港が譲渡され、鳥取市管理の漁港は青谷漁港と併せて6漁港となった。 【事業の目的及び効果】 第1種漁港の管理者として、漁港及び関連施設の維持管理を行い、安全安心な漁業経営に寄与する。 【事業の内容】 岩戸漁港浚渫工事：9,233千円 冬季波浪に伴う堆砂により浚渫土量が増加したため ・追加浚渫土量 V=3,300m <sup>3</sup> （当初と併せて4,500m <sup>3</sup> ）			

農008	項目名	農道等維持管理費	
予算書項目	農道等維持管理費	ページ	31
年度	R3	所 属 名 農林水産部 農村整備課	
会計名	一般会計		
款	農林水産業費		
項	農業費		
目	農地費		
(単位：千円)			
補正前額	2,932		
要求額	129		
総務部長段階査定額	129		
市長段階査定額	129		
区分	補正額	その他財源の内訳	
財源内訳	国・県支出金	0	分担金
	地方債	0	負担金
	その他	129	使用料
	一般財源	0	手数料
	計	129	財産収入
			寄付金
			繰入金
			贈収入
			その他
行財政改革課処理欄			
<b>事業の概要</b> 【問合せ先】基盤整備係 0857-30-8317 【11次総の施策体系】2104 【事業の目的及び効果】 市が管理者として実施すべき基幹農道等の維持管理や安全に関する整備等により、利用者の安全を確保する。 【事業の内容】 奥沢見地区湯水対策施設除草業務：129千円 奥沢見地区における湯水対策施設（送水管）の保全管理を行うため、管理道周辺の草刈を行うもの。 ※その他財源の諸収入は、国土交通省負担金			

農009	項目名	みんなで取り組む農山村保全活動支援事業費
------	-----	----------------------

予算書項目	みんなで取り組む農山村保全活動支援事業費	ページ	31
-------	----------------------	-----	----

所 属 名	農林水産部 農村整備課
-------	----------------

年度	R3
----	----

会計名	一般会計
款	農林水産業費
項	農業費
目	農地費

(単位：千円)

補正前額	600
------	-----

要求額	82
-----	----

総務部長段階査定額	82
-----------	----

市長段階査定額	82
---------	----

区 分	補正額
財源内訳	
国・県支出金	0
地方債	0
その他	82
一般財源	0
計	82

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
雑収入	82
その他	0

<p style="text-align: center;"><b>事業の概要</b></p> <p>【問合せ先】 総務係 0857-30-8316</p> <p>【11次総の施策体系】 2104</p> <p>【事業の経過及び背景】          中山間地域では高齢化・担い手不足が進行し、集落・地域だけでは農業生産基盤の維持管理が困難となってきた地域が増加しており、閉塞感も高まっている。都市部の市民や企業など外部からのサポートが求められている。</p> <p>【事業の目的及び効果】          地域貢献に前向きな都市部の自治体・企業等の外部サポーターとの協働により、低コストかつ持続可能な農業・農村の活性化を目指し、意欲的に生産基盤の保全・自立的な農業を行う集落・地域に対して支援することで、交流活動を通じた農業・農村の保全意識を高める。</p> <p>【事業の内容】          とっとり共生の里保全活動推進事業補助金返還金：82千円</p> <p>とっとり共生の里保全活動推進事業補助金に係る補助事業者の不適切な事務処理による、県への返還金（平成30年度及び令和元年度分）</p> <p>※その他財源の諸収入は、補助金返還金</p>
--

行財政改革課処理欄
-----------